

## 第8回 北の文脈文学講座

# たけべあやたり 津軽の文学の祖・建部綾足

講師 櫛引 洋一 (企画研究専門員)



建部綾足肖像画 画・北尾重

建部綾足(享保4年～安永3年)は、江戸時代中期、山鹿素行の血を引く弘前藩の家老の次男に生まれました。幼少から文武の英才、才気煥発、また美貌でもありましたが、20歳の年、兄嫁と通じて駆け落ちしようとして果たせず、ひとり故郷を出されて以来、56歳で江戸で没するまで、身の置き所も人間関係も変遷しつづけながら、俳人・歌人・読本作者・国学者・画家として、多彩に激しく生きました。

本講座では、綾足の文業を中心に解説します。

日時 令和6年12月21日(土) 午後2時～3時

会場 弘前市立郷土文学館 2階ラウンジ

観覧料 一般100円、小・中学生50円

(市内の65歳以上、市内の小・中学生、市内の留学生、  
市内外の障がいのある方、ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方は無料です。)

\*先着20名の事前申込制になります。申込みはお電話か文学館窓口まで。

\*申込受付は11月21日(木)より開始。